

Canon

BINOCULARS

15×50 IS ALL WEATHER

18×50 IS ALL WEATHER



IMAGE STABILIZER

JPN
使用説明書

Canon

15×50 IS ALL WEATHER

18×50 IS ALL WEATHER

IMAGE STABILIZER

キャノン製品のお買いあげありがとうございます。

キャノン 15 × 50 IS ALL WEATHER と 18×50 IS ALL WEATHER は、独自開発のバリアングルプリズム による手ブレ補正機能を搭載した高倍率双眼鏡です。ご使用になる前に、この使用説明書をお読みになって理解を深め、操作に慣れた上で正しくお使いください。

* この使用説明書は、15 × 50 IS ALL WEATHER と 18×50 IS ALL WEATHER の2機種共通となっています。

主な特長

- 野鳥観察から天体観測まで、幅広い状況に対応する高性能・高倍率双眼鏡（15×50 IS ALL WEATHER は 15 倍、18×50 IS ALL WEATHER は 18 倍）です。
- 高倍率双眼鏡ですが、手ブレ補正機能により安定した観察ができます。
- 50mm の大口径対物レンズ採用により、きわめて明るい視野が得られます。
- UD レンズ採用により、中心から周辺までクリアでシャープな見えを実現しています。
- 降雨中でも使用できる防水仕様を備えています。

* UD レンズ：Ultra Low Dispersion/ 低屈折率・低分散特性を備えた光学ガラス製レンズ

本文中のマークについて



故障など双眼鏡に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

付属品

当製品には以下の付属品が付いています。

ケース.....	1
ストラップ.....	1
接眼レンズキャップ.....	2
単3形アルカリ乾電池.....	2

JPN-1

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

警告



太陽を絶対見ないでください。
失明の原因となります。

注意

- 双眼鏡を不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。
- 双眼鏡を歩行中 사용하지しないでください。衝突、転倒し、けがの原因となることがあります。
- 双眼鏡のストラップを持って振りまわさないでください。他人に当たりけがの原因となることがあります。
- 双眼鏡の眼幅調節の際指をはさみ、けがをすることがあります。小さなお子様の使用につきましてはご注意ください。
- 双眼鏡を直射日光のあたるところに放置しないでください。火災の原因となることがあります。
- ゴム製目あての長時間使用を繰り返しますと皮膚に炎症を起こすことがあります。もし、うたがわしい症状があらわれましたら医師にご相談ください。
- ポリ袋（包装用）など小さなお子様の手に届くところに置かないでください。口にあて窒息の原因になることがあります。
- 電池の分解、充電（Ni-Cd 電池を除く）、高温下での放置、および接点をショートさせたり火の中に投げ入れることは絶対にしないでください。発火、破裂しけがの原因になることがあります。
- 異なる種類の電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

双眼鏡について

- (1) この双眼鏡は雨の中でも使用できる防水構造になっていますが、水中での使用はできません。
- (2) 双眼鏡を寒いところから暖かいところに移すと、急激な温度の変化で双眼鏡の外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前に双眼鏡をビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- (3) 双眼鏡は精密機械です。落としたりショックを与えたり自分で分解したりしないでください。
- (4) 使用中に水がかかった時は乾いたきれいな布で海水がかかった時は固くしぼったきれいな布でよくふきとってからケースに収納して下さい。
- (5) ヒーターの前や直射日光下の車の中などに双眼鏡を放置しないでください。極度の高温のため双眼鏡が故障することがあります。
- (6) レンズが汚れた場合は、最初にプロアークブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除いてください。ボディおよびレンズは有機溶剤を使って拭かないでください。
- (7) 湿気が多い所ではレンズ面にカビや曇りが生じやすくなります。長期間ご使用にならない場合は、レンズ表面やボディの汚れをよく拭き取り、風通しの良い、乾燥した所に保管してください。
- (8) 双眼鏡の保管場所として実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐蝕などの原因になるため避けてください。同様にタンスの中なども避けてください。
- (9) 長期間ご使用にならない場合は、電池を抜き取って保管するようにしてください。電池を入れたまま放置しておくと、液漏れを起こし機器の故障、汚損、火災の原因となります。

電池について

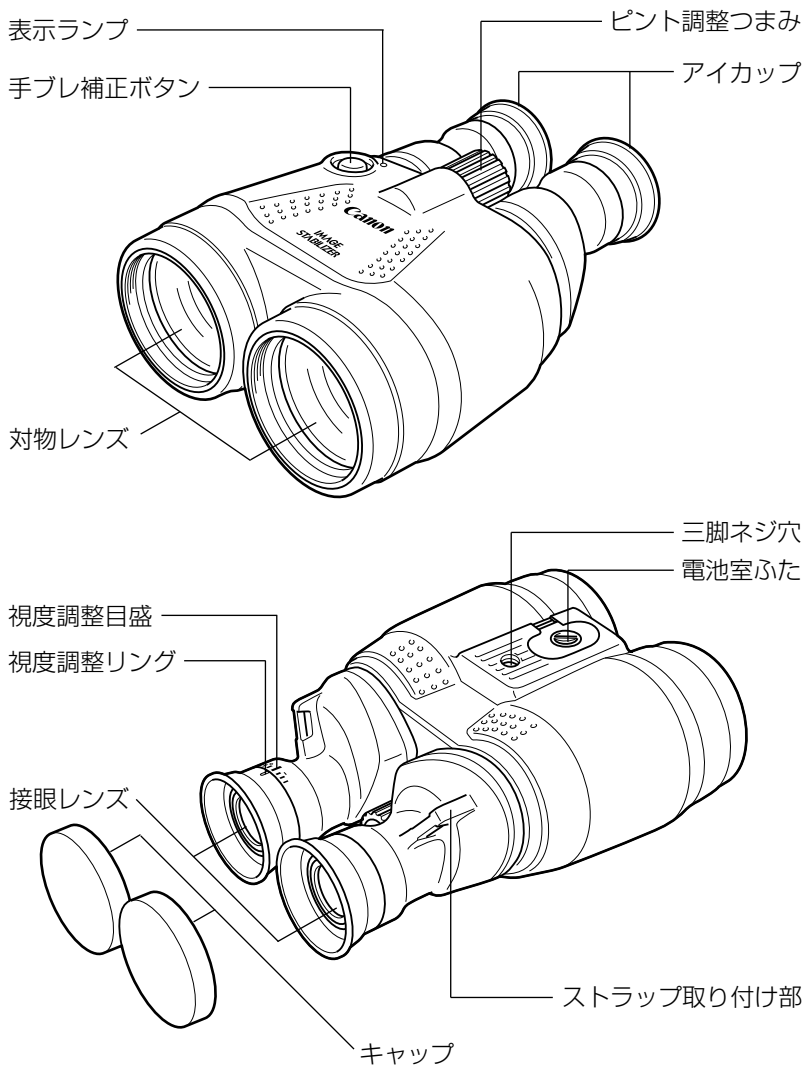
- (1) 電池容量が少なくなると、手ブレ補正ボタンを押しても表示ランプは点灯しません。電池を2本とも新品と交換してください。
- (2) 表示ランプが点灯しても手ブレ補正機能が正常に作動なくなることがあります。電池の容量が少なくなっていますので、電池を2本とも新品に交換してください。
- (3) 寒冷地でご使用になるときは、低温下での特性にすぐれた単3形リチウム電池のご利用をおすすめします。
- (4) リチウム電池は低温特性にも優れていますが、0°C以下ではやや電池の性能が低下します。寒冷地でご使用になるときは予備の電池を用意し、ポケットなどに入れて保温しながら交互に使用することをおすすめします。

ALL WEATHER とは強雨の中でも使用できる防水構造を意味しています。

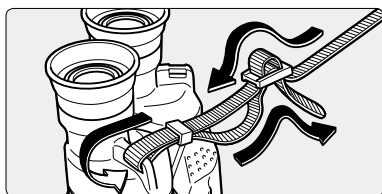


これらの双眼鏡に採用されているすべての光学ガラスには、環境保護の観点から鉛成分が入っていません。

各部の名称

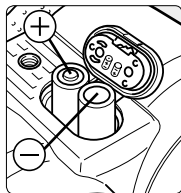
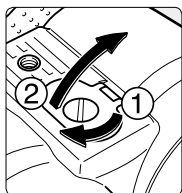


使用前の準備



1 ストラップを取り付ける

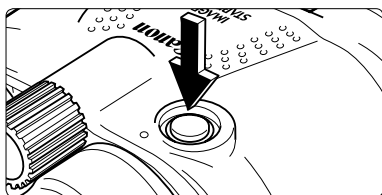
ストラップを引っばっても止め具の部分でゆるまないことを確認します。



2 電池を入れる

硬貨などを利用して矢印方向に 90° 回してゆるめ、電池室ふたを開けます。

電池室ふたの表示にしたがって「+」「-」をまちがえないよう電池を 2 本いれます。



3 表示ランプの点灯を確認する

手ブレ補正ボタンを押して表示ランプが点灯することを確認します。



● 双眼鏡が濡れた状態で電池交換はしないで下さい。

電池交換は本体の水滴をよくふきとった上で行ってください。

● 外部電源としてバッテリーバック BP-B1 (別売) が用意されていますが防水構造になっていません。

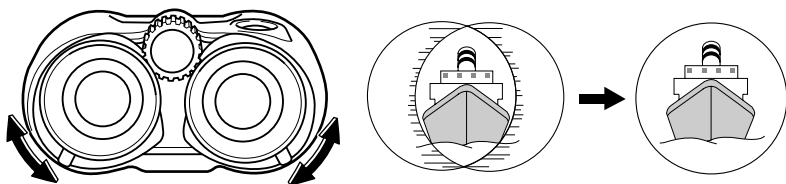
使用電池と連続使用時間

	25°C	- 10°C
単 3 形アルカリ乾電池	2 時間 30 分	10 分
単 3 形リチウム電池	8 時間	3 時間 30 分
単 3 形 Ni-Cd 電池	2 時間 30 分	1 時間 30 分

(当社試験条件による)

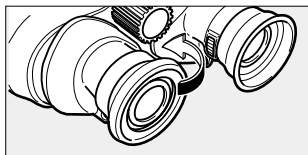
● 単 3 形マンガン乾電池は、電池容量が少ないためおすすめできません。

4 接眼部を眼の幅に合わせる

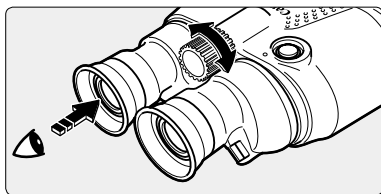


双眼鏡をのぞき、左右の視野が重なるまで接眼部の角度を調整します。

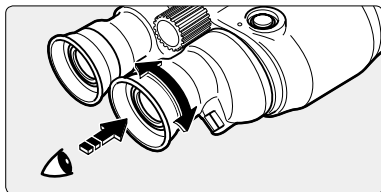
- 性能を十分に引き出し、目の疲労を少なくするためにおこないます。
- 接眼部と眼の幅を合わせるとき、できるだけ遠くのものを見ると合わせやすくなります。
- 眼鏡をかけたまま双眼鏡を使用するときは、アイカップを折り返します。



5 視度を調整する

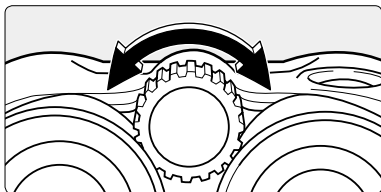


はじめに、左眼だけでのぞき、目標物のはっきり見えるまでピント調整つまみを回します。



次に、右眼だけでのぞき、左眼でピントを合わせた目標物のはっきり見えるまで視度調整リングを回します。

6 ピントの調整をする

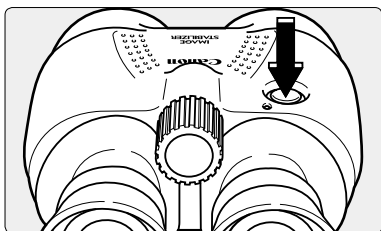


双眼鏡をのぞき、目標物がはっきり見えるまで、ピント調整つまみを回します。

手ブレ補正機能の利用

双眼鏡を構えて目標物を見ているときに、手ブレにより像がゆれて、見にくくなる場合があります。その場合、手ブレ補正機能を使用すると像を安定させることができます。

手ブレ補正機能は、手ブレ補正ボタンを押し続けている間だけの作動と、5分間の連続作動の2種類を選択することができます。



■ ボタンを押し続ける間だけの作動

手ブレ補正ボタンを押し続けると、その間だけ手ブレ補正機能が作動します。ボタンを離すと停止します。

■ 5分間の連続作動

手ブレ補正ボタンを押し、すぐに指を離すと、手ブレ補正機能が約5分間連続作動します。途中停止するときは再度ボタンを押しします。

- 手ブレ補正機能が作動している間は、表示ランプが点灯します。



- 体ごと大きくゆれる場所や手ブレが大きすぎると、手ブレが十分に補正されないことがあります。
- 電池が消耗すると異音と振動が発生する場合がありますが、手ブレ補正機能に支障はありません。
- 電池が入っていない状態でも、通常の双眼鏡として使用できます。

「故障かな？」とお考えになるまえに

「故障したのかな？」と考えるまえに次の表を参考にして双眼鏡をチェックしてみてください。それでも症状に変化がなければ最寄りのキヤノンサービスセンターにお持ちください。

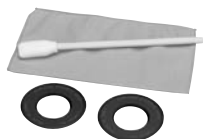
症 状	原 因	解決方法
像が明瞭に見えない。	レンズが汚れていませんか？	ブローブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
	接眼部を眼の幅に合わせていますか？	接眼部を眼の幅に合わせて下さい。 (手順 4 参照)
	視度調整してありますか？	視度調整してください。 (手順 5 参照)
	ピント調整していますか？	ピント調整してください。 (手順 6 参照)
手ブレ補正機能が作動しない。	電池は入っていますか？	電池を入れて、電池容量が十分か確認してください。
	手ブレ補正ボタンを押すと表示ランプは点灯しますか？	点灯しないときは電池が消耗しています。電池を新品に交換してください。
	電池容量は十分ですか？	表示ランプが点灯しても、電池が消耗していると手ブレ補正機能が作動しないことがあります。電池を新品に交換してください。
手ブレ補正機能作動時に双眼鏡を大きく振ると異音が生じる。	電池が消耗しています。	電池を新品に交換してください。
レンズ内に気泡ができてしまった。	飛行機や高い山など気圧の低い場所で、レンズ内部に気泡が見えることがあります。故障ではありません。	発生した気泡は通常約 1 週間程度で消えますが、気圧や使用条件によって変わります。

主な性能一覧

	15x50 IS ALL WEATHER	18x50 IS ALL WEATHER
型式	ポロプリズム式双眼鏡	
倍率（倍）	15	18
対物レンズの有効径	50mm	
実視界	4.5°	3.7°
見かけ視界	61.0°	60.3°
	(ISO14132-1：2002に基づく表記)	
1,000m での視界	79m	65m
射出瞳径	3.3mm	2.8mm
アイレリーフ	15mm	
焦点調整範囲	約 6m ~ ∞（無限遠）	
手ブレ補正方式	パリアングルプリズムによる光学式補正方式	
手ブレ補正角度	± 0.7°	
バッテリーチェック	表示ランプの点灯	
作動保証環境	温度：-10°C ~ +45°C 湿度：90%	
大きさ（W × H × D）	152 × 193 × 81 mm	
質量	約 1200g（本体のみ、電池を除く）	

※都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

関連アクセサリー



アンチフォグアイピース AE-B1

寒冷地などの厳しい条件下、観察の障害となる接眼レンズのくもりを防止します。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。なお、運賃諸掛りは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 10 年間です。

なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の付属品をご使用いただけないことがあります。

キヤノン双眼鏡ホームページ：canon.jp/binoculars

キヤノンお客様相談センター：050-555-90001（直通）

受付時間 〈平日 / 土 / 日 / 祝〉 9 : 00 ~ 18 : 00

（1 / 1 ~ 3 は休ませていただきます）

※ 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は 03-3455-9353 をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon